

一 学校の沿革

1 設立の経緯

我が国の肢体不自由教育は、昭和7年、東京・光明(養護)学校の設立を契機とし、その後、識者の意見や諸法令の整備等により全国各地に学校開設の気運がみられた。本県においても、昭和39年の全国特殊教育振興大会を機にその動きが加速されて昭和40年、県立整肢園内の玉江小分校・伊敷中分校が廃止され、鹿児島県立養護学校として開設される運びになった。

本校の開校によって、肢体が不自由なために通常の学校に就学することが困難な児童生徒に、教育の場が設定されることになった。また、昭和54年から養護学校が義務化され、肢体不自由教育も軌道に乗り、充実するに至った。

さらに、児童生徒が居住地域に近い特別支援学校への通学が可能になるよう、また、鹿児島市内の特別支援学校の過大規模化、過密化という課題解決のために、平成25年度から、知的障害と肢体不自由の児童生徒を対象にした鹿児島市北部の特別支援学校として、帯迫地区から花棚地区に新築移転し、現在に至っている。

2 沿革の概要

年 月 日	摘 要
昭和40. 4. 1	県立整肢園内の玉江小学校分校、伊敷中学校分校を廃止し、県立養護学校を設置する。
40. 4. 1	初代校長 荒田 静 着任
40. 11. 18	伊敷分校起工式
40. 12. 8	本校第1期工事起工式
41. 3. 5	本校～小学部6学級・中学部3学級認可、分校～小学部6学級・中学部3学級認可される。
41. 6. 16	本校第1期工事完了
41. 6. 21	本校開校式
41. 6. 21	通学用バス(県有)運行開始(市内全域)
42. 4. 1	高等部設置
42. 4. 25	開校記念式
42. 6. 30	本校第2期工事完了
43. 3. 31	本校第3期工事完了
43. 4. 6	皇太子殿下・妃殿下御来校
43. 5. 10～11	九州地区養護学校校長会ならびに肢体不自由教育研究協議会(本校)
44. 2. 26	本校第4期工事完了
44. 11. 23～24	全図学校保健研究大会班別研究会(本校)
44. 12. 15	本校第5期工事完了
45. 3. 14	本校高等部第1期生卒業
45. 11. 18～20	第16回全国肢体不自由教育研究協議会(本校)
46. 4. 1	第2代校長 宇都 哲 着任
48. 4. 1	第3代校長 寺師次夫 着任
49. 7. 1	水治訓練室増設(215㎡)
50. 4. 1	第4代校長 竹之内幹愛 着任
50. 4. 1	鹿児島県立鹿児島養護学校となる。(校名変更)校旗制定
50. 11. 13～14	第26回放送教育研究会全国大会(肢体不自由部会)(本校)
51. 2. 10	創立10周年記念式典
52. 3. 19	小・中学部に重複学級認可される。
52. 10. 27～28	第14回九州地区肢体不自由教育研究会(本校)
53. 4. 1	第5代校長 小迫義雄 着任
54. 4. 1	養護学校義務制施行
54. 11. 21	文部省指定特殊教育教育課程研究発表会
55. 4. 1	第6代校長 田実信男 着任
56. 4. 1	第7代校長 大坪敏夫 着任
57. 6. 21	愛唱歌「明るく 強く たくましく」を校歌として制定
58. 4. 1	伊敷分校が鹿児島県立伊敷養護学校となり分離される。
59. 4. 1	第8代校長 恒松幸男 着任
59. 5. 19	天皇陛下の行幸を仰ぐ。
59. 6. 22	心身障害児適正就学推進研究校として文部省の指定を受ける。
59. 10. 24	第21回九州地区肢体不自由教育研究会
60. 3. 15	体育館、寄宿舎等改装並びに給水施設工事
60. 6. 21	創立20周年記念碑除幕式及び学習発表会
60. 8. 31	寄宿舎改修工事
60. 9. 20	校庭便所及び隧道施設工事
61. 2. 10	創立20周年記念式典
61. 4. 1	第9代校長 内田文嘉 着任
63. 3. 31	通学用バス(県有)廃車
63. 4. 1	通学用バス(民間委託)運行開始
平成元. 4. 1	第10代校長 松元兼俊 着任
元. 4. 1	高等部に重複学級認可される。

年 月 日	摘 要
平成 2. 3. 15	A棟新館増築工事
3. 3. 31	A棟新館3階増築工事
3. 4. 1	第11代校長 後田逸馬 着任
3. 8. 21～23	第34回全国肢体不自由養護学校PTA連合会総会及びPTA・校長会合同研究大会
5. 3. 13	通学用中型リフト付バス1台導入運行開始（伊敷線）
5. 3. 30	食堂の拡張工事及び空調設備工事
6. 3. 22	「さわやか学寮」整備事業として寄宿舎空調設備工事
6. 4. 1	第12代校長 藤崎一幸 着任
7. 7. 12～14	全国心身障害児福祉財団事業“ふれあい交流の集い”（阿蘇）実施 小5～6年参加，2泊3日
7. 9. 1	通学用大型リフト付バス1台導入運行開始（谷山線）（リフトなしバス廃車）
7. 12. 9	県降灰対策事業グランド整地
8. 2. 3	創立30周年記念式典
8. 4. 1	第13代校長 竹井勝志 着任
8. 4. 5	民間委託による寄宿舎給食開始（明和食品）
8. 4. 5	母の会館外壁工事 体育館外壁清掃
8. 11. 16～17	九州ブロック肢体不自由児者父母の会鹿児島大会
9. 10. 9	学校沿革史のパネル板設置
10. 2. 6	多目的会議室「研修館」竣工，寄宿舎プレイルーム工事，観察地水槽を移設
10. 4. 1	第14代校長 救仁郷 勝 着任
10. 5. 28	特殊教育における福祉・医療との連携に関する実践研究校として文部省の指定を受ける。（2ヶ年間）
11. 9. 13	小・中・高教室冷房設置
11. 10. 27～29	第36回九州地区肢体不自由教育研究大会鹿児島大会
12. 4. 1	第15代校長 内野興一郎 着任
12. 4. 3	特殊教育における福祉・医療との連携に関する実践研究校として文部省の指定を受ける。（1年間）
13. 4. 2	特殊教育における福祉・医療等との連携に関する実践研究校として文部科学省の指定を受ける。（2年間）
15. 2. 10	第2回鹿児島県特殊教育諸学校PTA連絡協議会
15. 2. 13	特殊教育における福祉・医療等との連携に関する実践研究報告会
15. 4. 1	第16代校長 寺園典人 着任
15. 4. 1	文部科学省委嘱・県教育委員会研究指定「平成15・16年度養護学校における医療的ケアに関するモデル事業」を受ける
15. 9. 30	A棟児童生徒玄関屋根補修
16. 3. 31	スロープ・階段転落防止用アルミ手摺取付改修
16. 11. 10	学校給食優良校として文部科学大臣賞受賞
17. 4. 1	第17代校長 出来 喬 着任
17. 8. 26	寄宿舎プレイルーム改修，B棟ボイラー配管及び床補修
18. 2. 4	創立40周年記念式典
18. 4. 1	全国心身障害児福祉財団「障害児子育て支援のための研修会等の開催事業」を受ける。
18. 8. 24	A棟・B棟1階トイレ改修工事
19. 3. 12	体育館大型改修工事，教室・特別教室改修工事
19. 9. 6	C棟トイレ・厨房トイレ改造，D棟シャッター設置
19. 10. 31～11. 2	第44回九州地区肢体不自由教育研究大会鹿児島大会
20. 4. 1	第18代校長 米衛政光 着任
20. 8. 28	D・E棟1階トイレ改修
20. 11. 7	教室・舎室入口ドア改修
20. 12. 1	C・D・E棟耐震補強工事
21. 3.	鹿児島養護学校新校舎施設設備基本構想
21. 10. 9	職員室・技術室・調理室・理科室等空調設備設置
21. 10.	新校舎基本設計
22. 1. 8	鹿児島養護学校「設計検討委員会」設置
22. 4. 1	第19代校長 福田孝志 着任
22. 9. 30	新築移転工事基本設計完了
22. 12.	新校舎実施設計
24. 1. 17	新築移転工事安全祈願祭
24. 1. 25	授業実践協議会開催
25. 4. 1	第20代校長 前岡 昌利 着任
25. 3. 15	旧校舎とのお別れ式
25. 4. 1	花棚地区に新築移転する。知肢併置校として新たなスタート。
25. 4.	「たくましい“かごしまっ子”」育成推進事業における推進校指定を受ける。（2年間）
25. 4. 19	新築移転式典
26. 8. 19	第1回県特別支援教育研究大会開催
27. 1. 23	県授業力向上プログラム及び「たくましい“かごしまっ子”」育成推進事業」研究公開
27. 4. 1	第21代校長 古賀 政文 着任
27. 10. 21～23	第52回九州地区肢体不自由教育研究大会鹿児島大会
27. 11. 5	学校給食文部科学大臣表彰
27. 11. 12	全国学校体育研究優良校表彰
27. 11. 28	創立50周年記念式典
29. 1. 20	県授業力向上プログラム授業公開
29. 4. 1	第22代校長 釘田 雅司 着任
29. 10. 26	第56回全日本学校歯科保健優良校日本歯科医師会会長賞受賞
31. 4. 1	第23代校長 福田 雅紀 着任
令和 2. 1. 21	オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業指定校
3. 2. 5	県授業力向上プログラム授業公開
4. 4. 1	第24代校長 迫田 博幸 着任
4. 11. 2	県授業力向上プログラム授業公開
5. 4. 1	鹿児島県立鹿児島特別支援学校となる。（校名変更）